

歴 史Ⅱ (History II)		<b>3年・通年・2単位・必修</b> 機械, 情報工学科 担当 比佐 篤
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標 (1)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕 歴史学は、過去の出来事を知ることによって、現在の社会の成り立ちを理解し、さらに未来への展望を導き出す学問である。したがって、過去の出来事や歴史事実を知るだけではなく、それをいかに解釈するのかについて学ぶことが本講義の目的となる。</p>		
<p>〔講義の概要〕 現代社会において、良くも悪くも世界全体に強い影響力を与えているのは、欧米世界であることは疑い得ない。日本の近代化も欧米との交流の下で進展していったことを踏まえれば、ヨーロッパ文明を知ることは、現代の日本の状況を認識するために重要であると言える。そこで本講義では、ヨーロッパの通史を概観しながら、歴史的イベントのみを追いかけるのではなく、その基層となる文化的諸相や精神性を探っていきたい。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 西洋史の基本知識を得ることによって、現代の国際情勢の背景を理解し、加えて現在の自己の位置に基づく思考を確立するとの目的意識を持ちつつ、講義に臨んでもらいたい。なお、授業では補助教材を必ず使用する。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>前期中間試験：1) 歴史学の基本概念の理解 2) 古代地中海世界における諸文明の諸相とその相互交流の把握</p> <p>前期末試験：1) 中世ヨーロッパ社会におけるキリスト教と土着文化の関係性の把握 2) 中世ヨーロッパにおける地域的差異の理解</p> <p>後期中間試験：1) 古代・中世との連続性および断続性の把握 2) 近代ヨーロッパ社会の成立の形成過程に対する理解</p> <p>学年末試験：1) 近代国民国家の誕生と国際関係の樹立に関する把握 2) 現代社会における歴史学の意味の理解</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験(90%)を基本とし、これに授業内レポート(10%)を加えて総合的に判断する。</p>		
<p>〔教科書〕 『高校世界史 世界史B』山川出版社</p> <p>〔補助教材・参考書〕 『ダイアログ世界史図表 21世紀の歴史図鑑』第一学習社</p>		
<p>〔関連科目〕 講義にあたっては、1年次で学習した地理や、2年次で学習した日本史との関連も重要になるので、各自が適宜復習しておいてもらいたい。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	人類の出現と 文明の歩み	人類の起源と人種・民族・語族の基本概念、および歴史学の考え方について説明する。	
第2週	古代オリエント文明(1)	オリエント文明の発生と当地での民族の興廃、およびメソポタミア・エジプトの歴史的な発展の過程を学ぶ。	
第3週	古代オリエント文明(2)	フェニキア・ヘブライなどの地中海世界の諸民族と、アッシリア・ヒッタイトの動向を見ていく。	
第4週	三大ピラミッドの成立	三大ピラミッドの様相および建造過程から、いかなる目的でピラミッドが造られたのかを探る。	
第5週	古代ギリシアと ヘレニズム世界	古代ギリシアにおける都市国家の成立と、アレクサンドロスによる東方遠征を概観する。	
第6週	古代ローマ(1)	都市国家ローマが地中海世界全体を支配する帝国へと至るまでの歴史に基づき、ローマ帝国の本質を照らし出す。	
第7週	古代ローマ(2)	ローマ帝国の滅亡とキリスト教の誕生から、ヨーロッパ世界が維持し続けている精神性の源流を見出す。	
第8週	埋没都市ポンペイ	火山の噴火によって埋没し、千年以上も地中に眠り続けたイタリアの都市ポンペイの紹介を行う。	
第9週	西ヨーロッパ世界 の成立	ゲルマン民族の勃興とキリスト教の発展を辿りつつ、西ヨーロッパ社会の原型を認識する。	
第10週	西ヨーロッパ世界 の発展	中世ヨーロッパの封建制度および教会の権威の確立を、その歴史的な特質と中世人の精神性から捉える。	
第11週	東ヨーロッパ世界	東ヨーロッパにおいて中心的存在であったビザンツ帝国と、スラブ世界の形成を確認する。	
第12週	西ヨーロッパ中世社会 の変動(1)	十字軍によるヨーロッパの対外活動の変動を眺望し、それと共に発展した中世都市の様相を把握する。	
第13週	西ヨーロッパ中世社会 の変動(2)	中世ヨーロッパの封建制度と教皇権の衰退の歴史を学ぶと共に、中世的な概念の変動を探り当てる。	
第14週	西ヨーロッパ中世社会 の変動(3)	中世後期のヨーロッパ各国の情勢を、特にフランスとイギリスの衝突に焦点を当てつつ理解する。	
第15週	ヨーロッパにおける 「愛」の誕生	中世ヨーロッパにおいて「発見」された「愛」の感情から、ヨーロッパの思想の変容とその影響を論じる。	
前期期末試験			
第16週	ヨーロッパ近代の誕生	ヨーロッパ近代史を学ぶにあたって必要となる、基本的な概略およびその枠組と概念を説明する。	
第17週	ヨーロッパ世界の拡大	大航海時代によるヨーロッパ人の海外への進出と、それがヨーロッパ社会へ与えた影響を概観する。	
第18週	ルネサンス	キリスト教からの離脱と人間中心主義が生じたルネサンス期の精神を、代表的な絵画から読み取る。	
第19週	宗教改革	近世ヨーロッパにて生じた、キリスト教内部における抗争および分裂過程と、国家間の戦争の関連性を捉える。	
第20週	主権国家体制の形成	ヨーロッパ各国における主権体制の確立と、近世的な概念の発展の背後で起きた社会の変質を見出す。	
第21週	重商主義と 啓蒙専制主義(1)	イギリスにおける2つの革命および議会の発展と、イギリス風の「紅茶のある朝食」の誕生を探る。	
第22週	重商主義と 啓蒙専制主義(2)	フランス・プロイセン・ロシア・オーストリアなどの、大陸における専制君主国家の様相を見ていく。	
第23週	時間概念の変遷	古代における循環的な時間概念とは異なる直線的時間概念の成立を、キリスト教の思想から探り当てる。	
第24週	産業革命	産業の発展によって社会が大きく変革した産業革命の時代について、その実態を認識する。	
第25週	アメリカ独立革命	植民地から連邦制国家として独立したアメリカ合衆国の本質を、現代の諸事情と絡めつつ紹介する。	
第26週	フランス革命と ナポレオン(1)	フランス革命によって成立した体制に触れつつ、その混乱と思想の両面性を明らかにする。	
第27週	フランス革命と ナポレオン(2)	ナポレオンの戴冠とヨーロッパ世界の動乱から、フランス革命が及ぼした影響について確認する。	
第28週	ウィーン体制	フランス革命以後の19世紀前半のヨーロッパの変動を、各国における諸革命の動向から探る。	
第29週	ヨーロッパの再編	19世紀後半に、ヨーロッパ各国の再編から誕生した国民国家と、その後の状況を理解する。	
第30週	「道具」としての 歴史学へ	現代社会を認識するための道具として、歴史学を活用することはできるのかについて論じる。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)

<b>歴史 II (History II)</b>		<b>3年・通年・2単位・必修</b> <b>電気・物質化学工学科 担当 吉井 武史</b>
〔準学士課程(本科 1-5 年)学習 教育目標 (1)〕	〔システム創成工学教育プログラム学習 教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕 歴史の学習の目的は、過去に学ぶ事によって、現在の社会の成り立ちを理解し、さらに未来への展望を探る事にあると言えよう。そのためには正確な事実を追究する姿勢が重要である。</p>		
<p>〔講義の概要〕 2年生では、日本史を軸とした歴史を学んだわけであるが、3年生では、いわゆる世界史を学習する事となる。但し、全世界の国々の歴史を総花的に概観するだけでは、底の浅い理解しか得られないと思われるので、現在の世界に最も重大な影響を与えているヨーロッパ諸国の歴史を軸に、それなりの深度を持った講義を展開して行きたい。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 教科書に準拠したプリントを用いて授業を行なう。授業には副教材を使用する。</p>		
<p>〔到達目標〕  <b>前期中間試験</b>： 1) 先史時代の理解、2) 古代アメリカ文明の理解、3) 古代オリエント文明の理解、4) 古代ギリシア文明の理解  <b>前期末試験</b>： 1) ヘレニズム時代の理解、2) 古代ローマ文明の理解、3) ゲルマン民族大移動期の理解  <b>後期中間試験</b>： 1) フランク王国の理解、2) 中世前期西欧社会の理解、3) 中世東欧社会の理解、4) 中世後期西欧社会の理解  <b>学年末試験</b>： 1) 中世西欧文化の理解、2) 大航海時代の理解、3) ルネサンスの理解、4) 宗教改革の理解、5) 絶対主義時代の理解、6) 英国市民革命の理解</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験成績 (80%) にレポート点 (20%) を含めて総合評価する。</p>		
<p>〔教科書〕 「高校世界史B」, 山川出版社, 著者; 佐藤次高・木村靖二・岸本美緒  <b>〔補助教材・参考書〕</b> 「ダイアログ世界史図表: 21世紀の歴史図鑑」, 第一学習社, 「補助教材: 配布プリント」</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 講義にあたっては、1年次で学習した地理や、2年次で学習した日本史との関連も重要になるので、各自が適宜復習しておいてもらいたい。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	先史時代	人類の生物学的進化の過程と文化の発展について説明する。	
第2週	古代アメリカ文明	メソアメリカ・アンデス両文明の特質について説明する。	
第3週	メソポタミア・エジプト文明	メソポタミア・エジプト両文明の成立と相違点について説明する。	
第4週	古代のシリア・パレスティナ	アラム人・フェニキア人・ヘブライ人の活動について説明する。	
第5週	アッシリア・ペルシア帝国	アッシリア・アケメネス朝・バルティア・ササン朝について説明する。	
第6週	エーゲ文明とポリスの成立	エーゲ文明に関して発見史を交えながら解説し、ポリスの成立と古代ギリシア人の民族意識について説明する。	
第7週	古代ギリシアの民主政治	アテネの民主政治成立過程を説明し、現代の民主政治との相違点を理解させる。スパルタの特殊な国制についても解説する。	
第8週	ヘレニズム時代	アレクサンドロス大王の東征とディアドコイ戦争後のオリエント情勢について説明する。	
第9週	ギリシア・ヘレニズム文化	ギリシア・ヘレニズム時代の文化について説明する。	
第10週	共和政ローマ	都市国家ローマの成立から地中海世界統一までの過程を説明する。	
第11週	帝政ローマ	前期帝政と後期帝政の相違点を理解させる。	
第12週	キリスト教の成立と発展	キリスト教の宗教伝説と史実との相違点を理解させる。	
第13週	ローマ文化	キリスト教関連以外のローマ文化について説明する。	
第14週	ヨーロッパ大陸の気候風土	ヨーロッパ大陸の気候風土・地理的特質について解説する。	
第15週	ゲルマン民族大移動	ゲルマン民族大移動期の欧州情勢について説明する。	
前期期末試験			
第16週	フランク王国	フランク王国の西欧統一と分裂について説明する。	
第17週	ノルマン人の活動と封建社会	ヴァイキングの活動と中世西欧封建制について説明する。	
第18週	カトリック教会の発展と東ローマ帝国	叙任権闘争による教会権力の発展を説明し、東ローマ帝国の興亡についても解説する。	
第19週	スラヴ民族の活動	東欧のスラヴ民族の国家形成について解説する。	
第20週	十字軍と中世都市	十字軍派遣と、それに伴う西欧の商業復活について説明する。	
第21週	封建制度・カトリック教会の衰退	封建制度崩壊と教会の権威失墜の過程を説明する。	
第22週	英国議会の成立と百年戦争	身分制議会の成立と中央集権国家成立への過程を説明する。	
第23週	レコンキスタと神聖ローマ帝国	中世末期のイベリア半島・ドイツ・イタリアの情勢を説明する。	
第24週	中世西欧文化	中世西欧文化の特質を理解させる。	
第25週	大航海時代	ポルトガル・スペイン両国の活動を中心に説明する。	
第26週	ルネサンス	イタリアルネサンスの成立と他国への波及について説明する。	
第27週	宗教改革	ルター・カルヴァンの改革と英国国教会成立について説明する。	
第28週	スペイン絶対主義とオランダの独立	スペインの極勢期とオランダの活動について説明する。	
第29週	ユグノー戦争と三十年戦争	大規模な宗教戦争の実態について説明する。	
第30週	英国市民革命	清教徒革命と名誉革命を経た議会主権国家の成立について説明する。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)

<b>歴史Ⅱ (History Ⅱ)</b>		<b>3年・通年・2単位・必修</b> <b>電子制御工学科・担当 桑原 英之</b>
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (1)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕          いうまでもなく、現代は過去の歴史の上に成立している。したがって、現代社会において生じている問題を考えるにあたり、歴史的な知識が一定程度必要と思われる。とくにグローバル化した現代社会においては、世界のさまざまな地域の歴史的由来についての理解が必要であろう。この講義では、歴史の意味を考えつつ、各地域の歴史的経過を学ぶ。</p>		
<p>〔講義の概要〕          歴史的な事実は、単に過去のある時点における事実ではなく、むしろ現代にまでつながる物語とも考えられる。この講義では、できる限り歴史的な事象の有機的な関連を意識しながら、それが現代社会にとって有する意味についても考察してみたい。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕          この授業では、現在の社会情勢がどのような歴史的な出来事の積み重ねによって生じてきているのかということ意識しながらすすめていくので、ただ歴史的な事実についての知識を身につけるのではなく、現在との関連を常に意識しながら、授業に臨んでもらいたいと思います。</p>		
<p>〔到達目標〕  <b>前期中間試験：</b> 1) 先史時代の理解、2) 古代アメリカ文明の理解、3) 古代オリエント文明の理解、4) 古代ギリシア文明の理解  <b>前期末試験：</b> 1) ヘレニズム時代の理解、2) 古代ローマ文明の理解、3) ゲルマン民族大移動期の理解  <b>後期中間試験：</b> 1) フランク王国の理解、2) 中世前期西欧社会の理解、3) 中世東欧社会の理解、4) 中世後期西欧社会の理解  <b>学年末試験：</b> 1) 中世西欧文化の理解、2) 大航海時代の理解、3) ルネサンスの理解、4) 宗教改革の理解、5) 絶対主義時代の理解、6) 英国市民革命の理解</p>		
<p>〔評価方法〕          定期試験成績 (80%) にレポート点 (20%) を含めて総合評価する。</p>		
<p>〔教科書〕          「高校世界史B」, 山川出版社, 著者; 佐藤次高・木村靖二・岸本美緒</p> <p>〔補助教材・参考書〕          「ダイアログ世界史図表: 21世紀の歴史図鑑」, 第一学習社,          「補助教材: 配布プリント」</p>		
<p>〔関連科目〕          講義にあたっては、1年次で学習した地理や、2年次で学習した日本史との関連も重要になるので、各自が適宜復習しておいてもらいたい。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	先史時代	人類の生物学的進化の過程と文化の発展について説明する。	
第2週	古代オリエント文明の成立	メソポタミア・エジプト両文明の成立と相違点について説明する。	
第3週	ギリシア世界1	ギリシアの国政とその文化について説明する。	
第4週	ギリシア世界2	ポリス社会の没落とヘレニズム文化について考察する。	
第5週	共和制ローマ	地中海一帯を支配するに至ったローマとその他の国との関係を説明する。	
第6週	帝政ローマ	ローマの帝政について説明する。	
第7週	キリスト教の成立と発展	ユダヤ教徒キリスト教の異同、キリスト教の発展について説明する。	
第8週	ローマ文化	キリスト教関連以外のローマ文化について説明する。	
第9週	西ヨーロッパ世界の成立	ゲルマン民族の大移動とその影響について解説する。	
第10週	西ヨーロッパの発展	フランク王国の分裂と封建社会の成立について説明する。	
第11週	十字軍とその影響1	十字軍がヨーロッパ文化に与えた影響を考察する。	
第12週	十字軍とその影響2	同上	
第13週	インドの古典文明	インドの古典文明について説明する	
第14週	インドの宗教と文化	バラモン教、仏教とインドの文化について説明する。	
第15週	中国文明	中国文明の発生について解説する。	
前期期末試験			
第16週	イスラム世界の形成	イスラム教の誕生について説明し、その宗教上の特色を理解する。	
第17週	イスラム世界の発展	インド・東南アジア・アフリカのイスラム化を説明する。	
第18週	大航海時代	近代ヨーロッパの成立と交易について説明する。	
第19週	宗教改革	宗教改革の背景とその影響について考察する。	
第20週	近代国家の原型	主権国家の成立について説明する。	
第21週	主権国家の展開	イギリス革命とその思想的背景を説明する。	
第22週	科学革命	科学革命の意味とその影響について考察する。	
第23週	産業革命	イギリスでおこった産業革命と資本主義の確立について説明する。	
第24週	フランス革命	フランス革命とその思想的背景を説明する。	
第25週	ウィーン体制と自由主義	19世紀のヨーロッパ社会の状況について説明する。	
第26週	社会主義思想とロシア革命	社会主義思想とロシア革命について説明する。	
第27週	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義の意味とその植民地の状況について説明する。	
第28週	二つの世界大戦1	第一次世界大戦について、その発端と人間に与えた衝撃を考察する。	
第29週	二つの世界大戦2	第二次世界大戦について、ファシズムや原爆投下の意味について考察する。	
第30週	戦後の世界	第二次世界大戦後の世界について概観し、過去との関係を考察する。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)